競　技　注　意　事　項

1.　本大会は 2026 年度「(公財)日本陸上競技連盟競技規則」、「競技会における広告および展示物規定」、「(公社)日本マスターズ陸上競技連合競技規則」及び、本大会の申し合わせ事項に基づいて行う。

2. 競技者の招集について

①招集所は競技場の外(100mスタート地点の裏側)に設置する。

②トラック競技は競技開始時間の 30 分前に開始し 20 分前に完了する。
フィールド競技は競技開始時間の 40 分前に開始し 30 分前に完了する。

③競技者は、招集完了 10 分前迄に招集場所に来て、競技者自ら備え付けの点検簿に自分の番号を〇で囲み、係員の指示に従い、現地では自己の責任において、競技開始時間に遅れないようにすること。

④2 種目に出場する競技者は、本人(代理者でも可)が競技開始時間の 30 分前迄に競技者係まで申し出ること。 ※招集時間に遅れた者は棄権とみなす。

3. アスリートビブスについては、都道府県登録番号を持参すること。(横 24 ㎝×縦 16 ㎝以内)
トラック競技出場者(800m以上の出場者)には腰ナンバーカードを招集所で交付する。

4. 競技について

① レーン、競技順はプログラム記載順とするが、競技運営上変更することがある。

② トラック競技は全てタイムレースで行う。
競技運営上により、クラスの混合や男女同時スタートすることがある。。

③使用するスパイクピンは全天候用9㎜以下の平行ピンを使用すること。
ただし、走高跳とやり投については 12 ㎜以下のものが使用できる。
靴底厚さは 20 ㎜以内、ただし、競歩は 40 ㎜以内とする。

④跳躍、投てきの競技の試技については、同一時間帯に複数の競技を掛け持ち出場する選手より申し出のあった場合、競走競技を優先し、競技の順序適宜変更するが、その選手は、他の競技中に失ったラウンドを要求することできない。

⑤競技者は準備運動を十分行い、怪我等のないように注意すると共に熱中症防止対策にも各自十分配慮して下さい。

⑥フィールド競技の試技数は、走高跳と棒高跳を除いて、予選 3 回、決勝1回とする。

⑦セーフティジャッジの指示に従うこと、競技続行が危険と判断した場合は中止させる場合がある。

5. その他

①賞状は指定の場所で配付する。 郵送を希望する場合は手数料(500 円)添えて申し込むこと。

②競技場の美化にご協力下さい。

③競技時間は変更する場合があるので注意すること。

④ウォームアップ場所について

A.補助競技場、雨天練習場を利用し、十分安全配慮の上で行うこと。 投てき練習は不可。

B.投てき関係のウォームアップは試技前に若干の時間を設ける。

⑤競技中の傷害疾病については、一日傷害保険に加入し応急手当をする他は、主催者は一切の責任を負わないので、十分注意して競技をするように心掛けること。

⑥本大会が認めた報道機関または主催者が撮影した写真や氏名等が新聞・雑誌・ホームページ等に公開されることがある。

⑦大会中の競技場内での場所取りは禁止する。

⑧大会中での貴重品は、各自で責任を持って保管すること、主催者は一切の責任を負わない。